

フラットラック取付要領書

JAOS FLAT RACK Installation Instructions

このたびは JAOS フラットラックをお買い上げいただきまことにありがとうございます。
本書はフラットラックを取り付ける場合の要領と取り扱いについて記載しています。

取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

< 作業後は本書を製品の使用者様にお渡ししていただき、使用者様は本書を大切に保管してください。 >

取付参考時間
INSTALLATION TIME



約 1.0 時間
1.0-hours

必要工具
TOOL

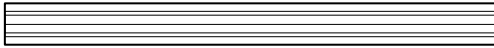
プラスドライバー (#2)
メジャー
トルクレンチ
六角棒ソケット (HEX 4)

作業難度
SKILL LEVEL

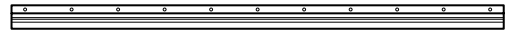
① パーツ交換 / 取付 Easy
② 車体加工あり Moderately Easy
③ 専門知識が必要 Moderately Difficult
④ 分解整備 Difficult

部品構成

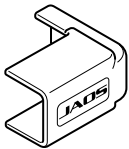
①



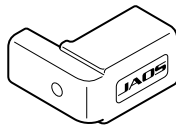
②



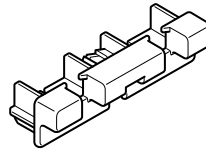
③



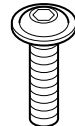
④



⑤



⑥



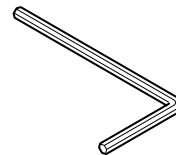
⑦



⑧



⑨



構成部品名称 DESCRIPTION	数量 QTY	
	1250 × 1400	1250 × 1920
① フロアバー FLOOR BAR	6	8
② サイドフレーム SIDE FRAME	2	2
③ コーナーキャップ A CORNER CAP A	2	2
④ コーナーキャップ B CORNER CAP B	2	2
⑤ エンドキャップ END CAP	12	16
⑥ フランジ付ボタンボルト (M6 × 25) BUTTON BOLT	12	16
⑦ ナイロンロックナット (M6) NYLON LOCK NUT	12	16
⑧ 皿タッピングネジ (M4 × 20) COUNTERSUNK SCREW	4	4
⑨ 六角レンチ SOCKET SET SCREW WRENCH	1	1

使用上の注意事項

警告 使用荷重の範囲内で使用してください。(使用荷重 50kg)

この製品の使用荷重は 50kg を想定しています。これを超える荷重での使用・運用は車体側の取り付け面の破損、またはその破損による当製品の落下で起こる 2 次事故などを誘発する恐れがあり、たいへん危険です。(この製品は別冊「JAOS 製品取扱説明書 / 注意事項」に記載された「使用荷重 80kg」とは異なりますので注意してください)

注意 積載物の大きさに注意してください。

・自動車に当製品を装着した状態で荷物を積載し公道等走行する場合は下記「道路交通法施工令第 22 条 3 項」に定める「積載物の大きさ」を超えない様注意してください。

長さ : 自動車の長さとその 10 分の 1 の長さを加えたもの (自動車の全長の 1.1 倍以下とする)

幅 : 自動車の幅 (自動車の全幅以下とする)

高さ : 3.8m (軽自動車は 2.5m) からその自動車の積載する場所の高さを減じたもの

(自動車 + フラットラック + 積載物を 3.8m (軽自動車は 2.5m) 以下とする)

注意 積載物は必ず固定してください。

積載物は 1ヶ所に荷重が掛からない様分散して積載し、必ずロープやベルトなどで固定してください。また、ベースフットにはロープやベルトは掛けないでください。

注意 サルーフ車への装着には注意してください。

サルーフ車へ当製品を装着した場合にチルトアップ機能を使用する、または開閉時にチルトアップしてしまう場合は必ず機能を通常使用する前に当製品と接触しないかを確認してください。

接触する可能性がある場合はチルトアップ機能は使用しないでください。

注意 点検整備を行ってください。

・月に 1 度、もしくは 100km 走行毎を目安に各締め付け部の緩みや破損部分が無いなどを点検していただき、必要に応じて増し締めを行ってください。特に悪路や高速走行前後には必ず点検をしてください。

・万一不具合が生じている場合は、そのままの使用は避けてお買い求めの販売店又は弊社へご相談ください。

注意 車両特性の変化に注意してください。

積載物を積んだ場合や空荷の状態での走行時の車両の挙動について、急ハンドル、急発進、急ブレーキは避け、運転には充分注意してください。特に急カーブや悪路走行、強い横風などを受ける場合は車両の傾き方やハンドルの取られ方、ブレーキの利き方などが変化するので注意が必要です。

注意 高さ・長さ制限、頭上障害物などに注意してください。

・走行前に積載物を積んだ場合や空荷の状態での車両の全高や全長を必ず確認しておいてください。トンネルや立体駐車場などの高さ制限が設けられている場所や長さ制限などが設けられている道路などは制限内に納まっている事を確認し、安易に侵入しない様、注意してください。

・木などが道路上まで生い茂る場所や看板などがせり出しているような場所では積載物の接触や傷、破損などに充分注意し、確認しながらゆっくり走行する様にしてください。

注意 洗車機の使用はできません。

洗車機は横方向 (特に前後方向) への過度な力が掛かるため、車体側の取り付け面の破損、またはその破損による当製品の落下で起こる 2 次事故などを誘発する恐れがありますので使用しないでください。

安全に作業を行うために

注意 取り付け作業は必ず 2 人以上で行ってください。

特別な機械 (クレーンやチェーンブロックなど) がない限りは必ず 2 人以上で取り付け作業を行ってください。また脚立などを使用する場合は、落下など充分注意してください。

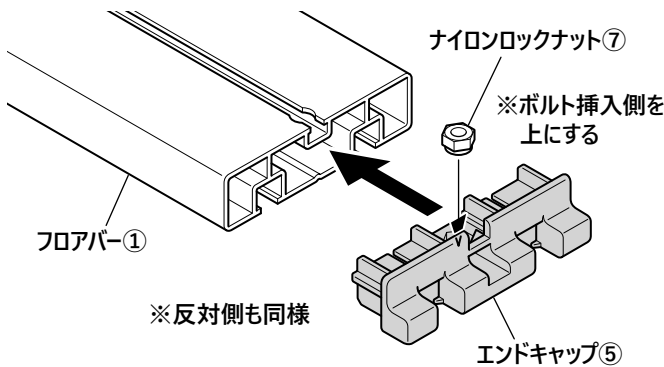
注意 車両に手をついて体重を掛けないでください。

ボディパネル (特にルーフなど) が変形や破損する恐れがあります。

取付要領

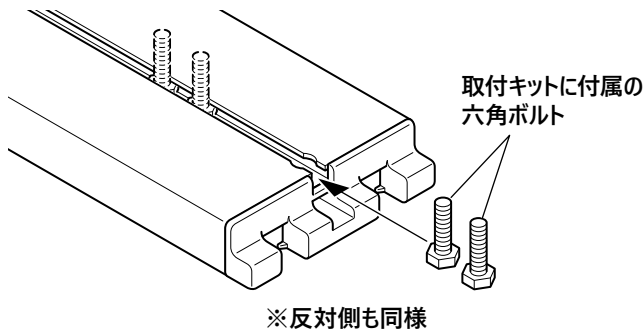
※図中や文中の○数字は構成部品のナンバーを示しています。

1. エンドキャップの取り付け



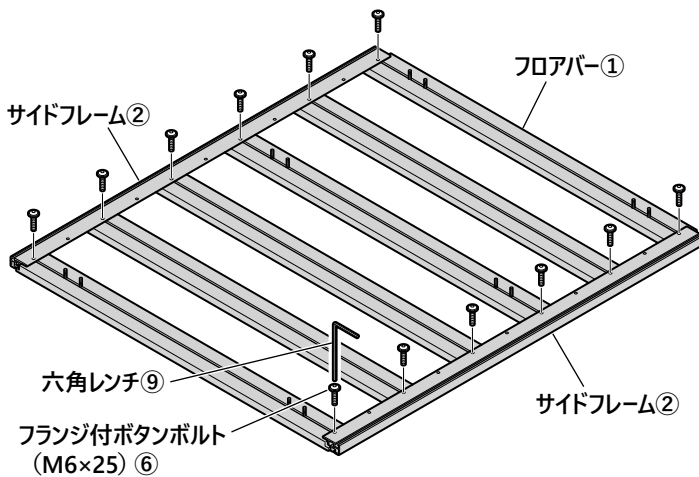
- ナイロンロックナット⑦をエンドキャップ⑤に取り付けます。
- 👉 **アドバイス** ナイロンロックナット⑦のボルト挿入側を上向きにしてください。
- フロアバー①の両端にエンドキャップ⑤を取り付けます。
- すべてのフロアバー①に同様の作業を行います。

2. ベースフット取り付け用ボルトの取り付け



- 取付キットに付属の六角ボルトをフロアバー①の溝に差し込みます。
- 取付キットを取り付けるフロアバー①に対して同様の作業を行います。詳細は取付キットに付属の取付要領書を参照してください。

3. フロアバーとサイドフレームの組み立て



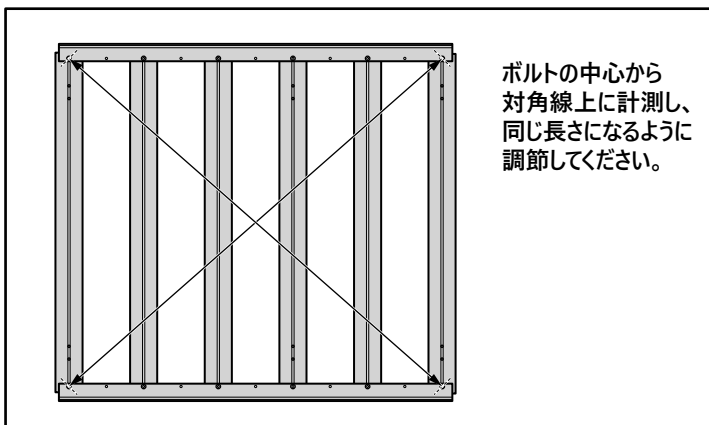
- フロアバー①とサイドフレーム②を組み合わせ、フランジ付ボタンボルト (M6 × 25) ⑥で仮組みします。

👉 **アドバイス** ボルトの増し締めは指示があるまでは行わないでください。
本書の「仮組み」とは、工具を使わず締めていき、脱落などは起きないが止めている物同士が多少動き、調整が出来る程度の固定を指します。

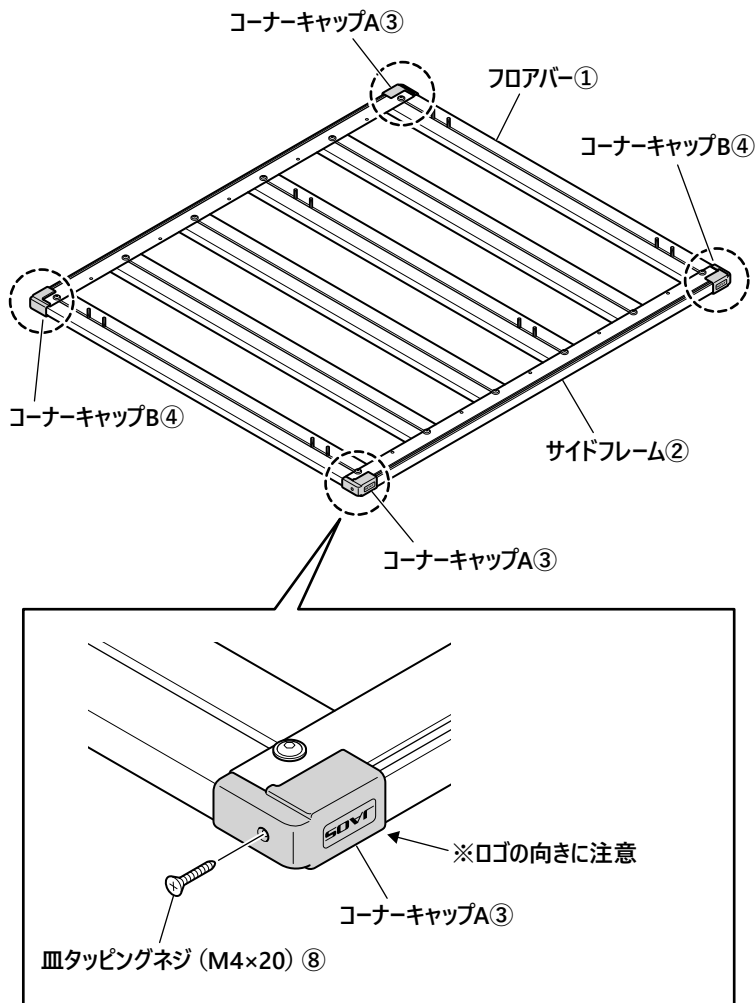
👉 **アドバイス** 図はフロアバー①を6本使用した例です。車両に合わせてフロアバー①の取付位置を調節してください。

- ボルトの中心から対角線に計測し、同じ長さになるように位置を調整します。

- フランジ付ボタンボルト (M6 × 25) ⑥を本締めします。
推奨締付トルク：4.0N・m



4. コーナーキャップの取り付け



- 図の位置にコーナーキャップ A ③、コーナーキャップ B ④を皿タッピングネジ (M4 × 20) ⑧で取り付けます。

アドバイス ロゴの向きを確認し、間違えないように取り付けてください。

以降は取付キットに付属の取付要領書を参照して取り付けてください。

装着状態の確認

注意 装着後には必ず取付確認を行ってください。
ボルト類の締め付け忘れなどにより本体が脱落する恐れがあり大変危険です。